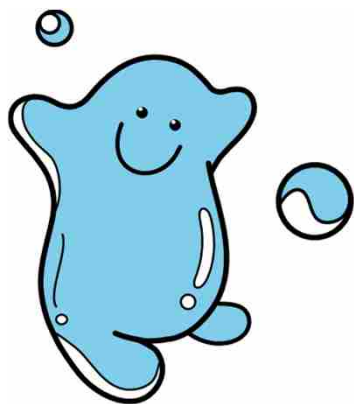


資 料	水－1
作 成	水 道 局 総 務 部
提 出	令和6年 12 月 17 日

令和5年度決算の概要

札幌市水道局

令和5年度 決算の概要



ウォッピー

札幌市水道局公式キャラクター

令和6年（2024年）12月17日
札幌市水道局

目 次

1	収益的収支	・ ・ ・ ・ ・	P 1
2	資本的収支	・ ・ ・ ・ ・	P 2
3	資金残高	・ ・ ・ ・ ・	P 3
4	決算額の推移（5年間）	・	P 4
5	業務量	・ ・ ・ ・ ・	P 5
6	主要事業の概要	・ ・ ・ ・ ・	P 6

- (1) 豊平川水道水源水質保全事業 ・ ・ ・ ・ ・ P 7
- (2) 石狩西部広域水道企業団への参画 ・ ・ ・ ・ ・ P 8
- (3) 白川浄水場改修事業 ・ ・ ・ ・ ・ P 9
- (4) 白川第1送水管更新事業 ・ ・ ・ ・ ・ P10
- (5) 配水管更新事業 ・ ・ ・ ・ ・ P11
- (6) 定山溪浄水場等耐震化事業 ・ ・ ・ ・ ・ P12
- (7) 配水幹線連続耐震化事業 ・ ・ ・ ・ ・ P13
- (8) 災害時重要管路耐震化事業 ・ ・ ・ ・ ・ P14
- (9) 無線式メーターの設置地域の拡大 ・ ・ ・ ・ ・ P15
- (10) 札幌水道を支える人材の育成 ・ ・ ・ ・ ・ P16
- (11) 環境に配慮した事業運営の推進 ・ ・ ・ ・ ・ P17

1 収益的収支～水道事業の運営に関する収支

- 収益的収支は、1年間の企業の経営活動に伴い発生する「収益」と「費用」からなり、企業の経営成績を表すもの。
- 主に、収入の大部分を占める給水収益と、施設の運転やその管理費など、事業を運営するための費用である運営管理費等からなる。
- 令和5年度決算の収支差引は115億円の黒字(消費税抜の純利益は93億円)となった。

(消費税込、単位:億円)

区 分			予算①	決算②	増 減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備 考
収益的収入 A			461	464	3	0.7%	
営業 収益	うち給水収益		412	416	4	0.9%	
収益的支出 B			369	349	▲ 20	▲ 5.4%	
営業 費用	うち運営管理費		190	170	▲ 19	▲ 10.1%	請負工事費、委託料等の減
	うち減価償却費等		135	133	▲ 2	▲ 1.3%	
営 業 外 費 用			12	12	0	0.0%	
差 引 A－B			92	115	23	25.1%	消費税抜の純利益は93億円

※内訳は主な項目のみ記載している。また、各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※予算は現計予算(当初予算に前年度からの繰越額や流用増減等を加味した額)である。

2 資本的収支～設備投資とその財源に関する収支

○ 資本的収支は、公営企業の将来の経営活動に備えて行う施設の建設・改良等の事業費や、建設改良に係る企業債償還金などの支出及びその財源となる企業債等の収入を表すもの。

○ 令和5年度決算の収支差引は251億円の収支不足となった。

(消費税込、単位:億円)

区 分	予算①	決算②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備 考
資本的収入 C	96	63	▲ 33	▲ 34.1%	
うち企業債借入	70	37	▲ 33	▲ 47.1%	企業債借入の抑制による減
うち出資金	12	11	0	▲ 3.1%	石狩西部広域水道企業団における事業費の減
資本的支出 D	344	314	▲ 30	▲ 8.8%	
うち建設改良費	273	245	▲ 28	▲ 10.4%	契約差金の発生による減
うち企業債償還金	59	58	▲ 1	▲ 2.0%	令和4年度の企業債借入額抑制による減 令和5年度末の未償還残高は505億円
差 引 C-D	▲ 249	▲ 251	▲ 3	▲ 1.0%	

※内訳は主な項目のみ記載している。また、各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

3 資金残高

○ 資金残高は、外部に流出せずに企業内部に残っている資金の額を表すもの。

○ 令和5年度末の資金残高は136億円である。

(消費税込、単位:億円)

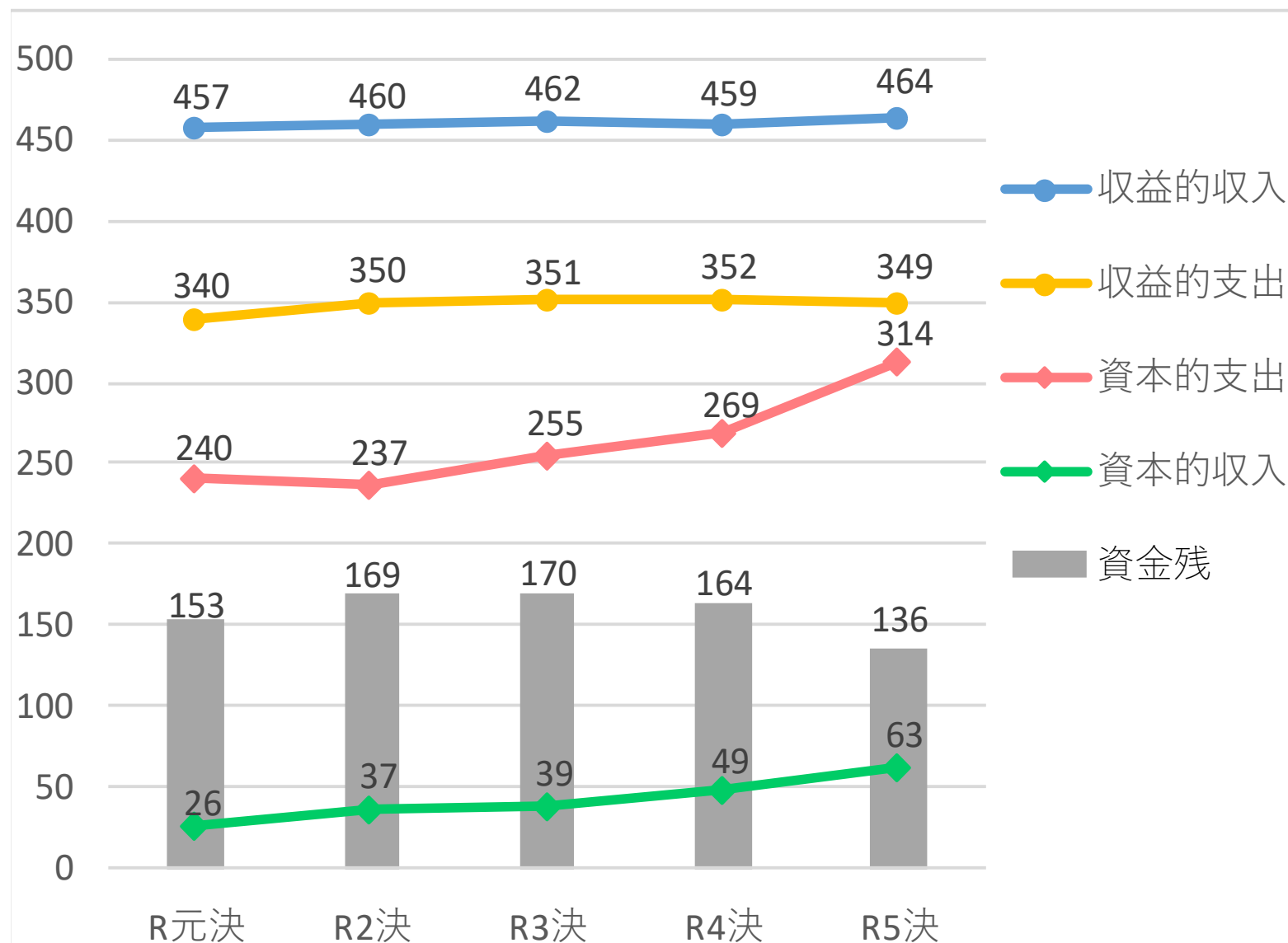
区 分	予算①	決算②	増 減 ③=②-①	増 減 率 ④=(③/①)×100	備 考
当年度資金収支 E	▲ 48	▲ 29	20	40.5%	
収益的収支差引	92	115	23	25.1%	水道事業の運営に関する収支
資本的収支差引	▲ 249	▲ 251	▲ 3	▲ 1.0%	設備投資とその財源に関する収支
当年度分 損益勘定留保資金等	108	107	▲ 1	▲ 0.9%	減価償却費等の非現金支出の費用による内部留保資金
過年度分内部留保資金 F	164	164	0	0.0%	過年度から繰り越された資金
合計（資金残高）E + F	116	136	20	16.9%	
水道施設更新積立金	76	76	0	0.0%	老朽施設更新のために積立している資金
上記以外の額	40	60	20	49.0%	翌年度以降の建設改良費の財源

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※予算は前年度の繰越を含めた額であり、過年度分内部留保資金は令和4年度決算置換後の額である。

4 決算額の推移（5年間）

（消費税込、単位：億円）



※各項目ごとに四捨五入している。

5 業務量

区 分		5 年度決算 A	4 年度決算 B	比 較	
				増減△ A-B=C	増減率 (%) C / B
人 口 等	給 水 区 域 内 人 口 (人)	1,964,296	1,967,395	△ 3,099	△ 0.2
	給 水 人 口 (人)	1,962,954	1,965,989	△ 3,035	△ 0.2
	普 及 率 (%)	99.9	99.9	0.0	—
水 量 等	年 間 配 水 量 (m³)	191,203,450	189,246,460	1,956,990	1.0
	1 日 平 均 配 水 量 (m³)	522,414	518,483	3,931	0.8
	年 間 有 収 水 量 (m³)	179,149,151	176,923,630	2,225,521	1.3
	有 収 率 (%)	93.7	93.5	0.2	—
年 度 末 給 水 件 数 (件)		912,733	902,987	9,746	1.1
年 度 末 配 水 管 布 設 延 長 (m)		6,097,390	6,087,704	9,686	0.2

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目		主な事業	事業費
1	水源の分散配置と 水質の安全性の向上	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	2,359
		(2) 石狩西部広域水道企業団への参画	1,582
2	施設の更新・耐震化と 危機管理体制の強化	(3) 白川浄水場改修事業	1,438
		(4) 白川第1送水管更新事業	49
		(5) 配水管更新事業	10,138
		(6) 定山溪浄水場耐震化事業	58
		(7) 配水幹線連続耐震化事業	4,713
		(8) 災害時重要管路耐震化事業	184
3	利用者とのコミュニケーションの充実	(9) 無線式メーターの設置地域の拡大	556
4	経営基盤の強化と連携の推進	(10) 札幌水道を支える人材の育成	10
5	エネルギーの効率的な活用	(11) 環境に配慮した事業運営の推進	8

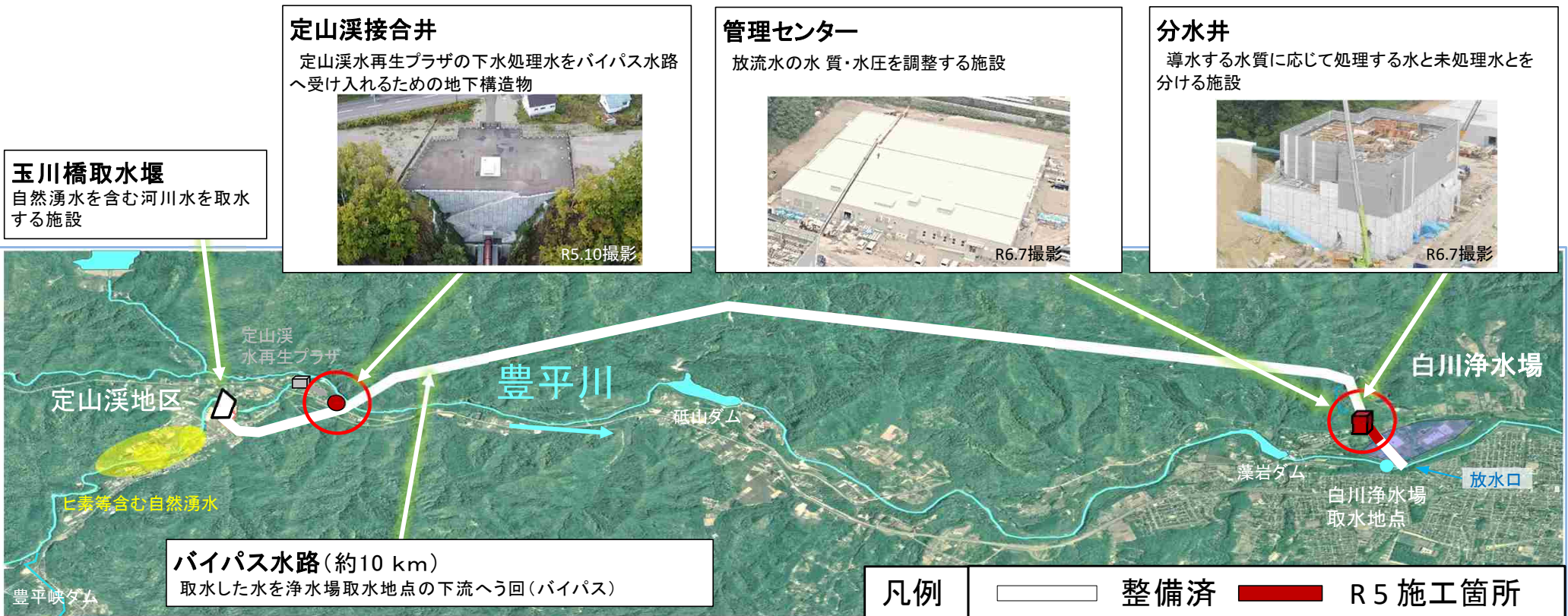
6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	2,359

【事業内容】

豊平川上流域における水質悪化の要因(自然湧水に含まれるヒ素など)を、水道原水から取り除くため、バイパス水路を用いて白川浄水場取水地点の下流にバイパス・放流し、より良質な水を浄水場で取水可能にする。



R5: 管理センター新設工事、分水井1階室内配管・弁設備新設工事、定山溪接合井工事ほか

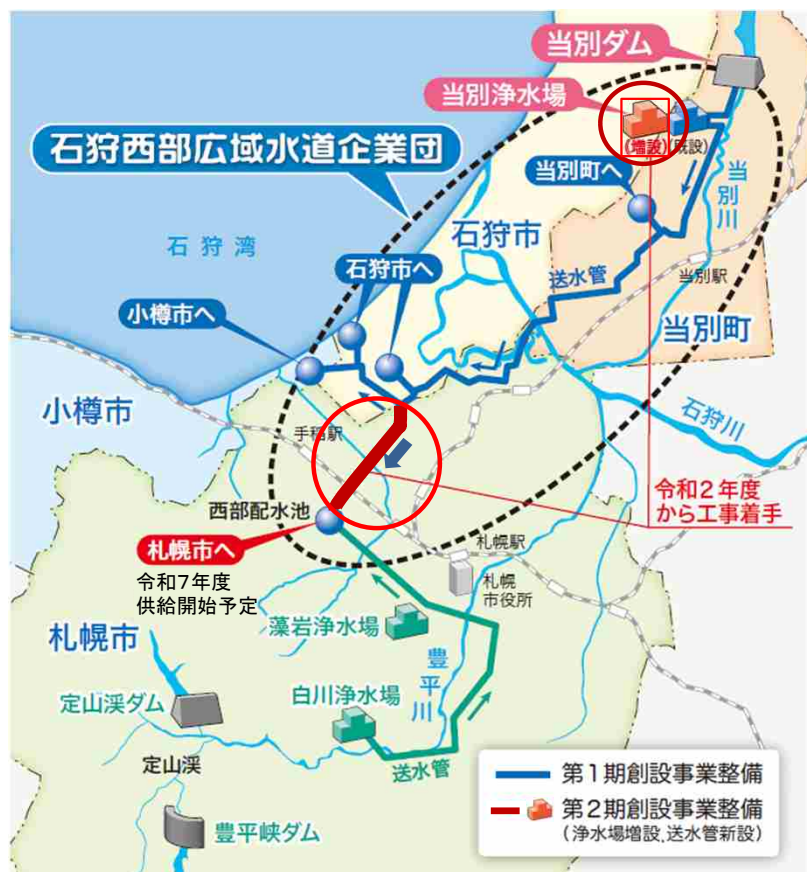
6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	(2) 石狩西部広域水道企業団への参画	1,582

【事業内容】

水源の約98%を依存する豊平川以外に安定した水源を確保し、分散配置するため、当別ダムを水源として水道水を供給する石狩西部広域水道企業団に参画し、令和7年度からの受水に向けた運営に協力する。



R5: 当別浄水場浄水処理施設増設工事
送水管新設工事ほか

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と 危機管理体制の強化	(3) 白川浄水場改修事業	1,438

【事業内容】

耐震性能が不足しているとともに経年劣化が進んでいる既存浄水棟を段階的に改修する。改修は既存浄水棟の浄水処理を停止して行う必要があり、停止時に低下する給水能力を補うため新たに第4浄水棟を先行して建設する。



6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(4) 白川第1送水管更新事業	49

【事業内容】

経年劣化が進み、耐震性も不足している白川第1送水管を、耐震管を用いて更新する。



R5: 基本設計

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

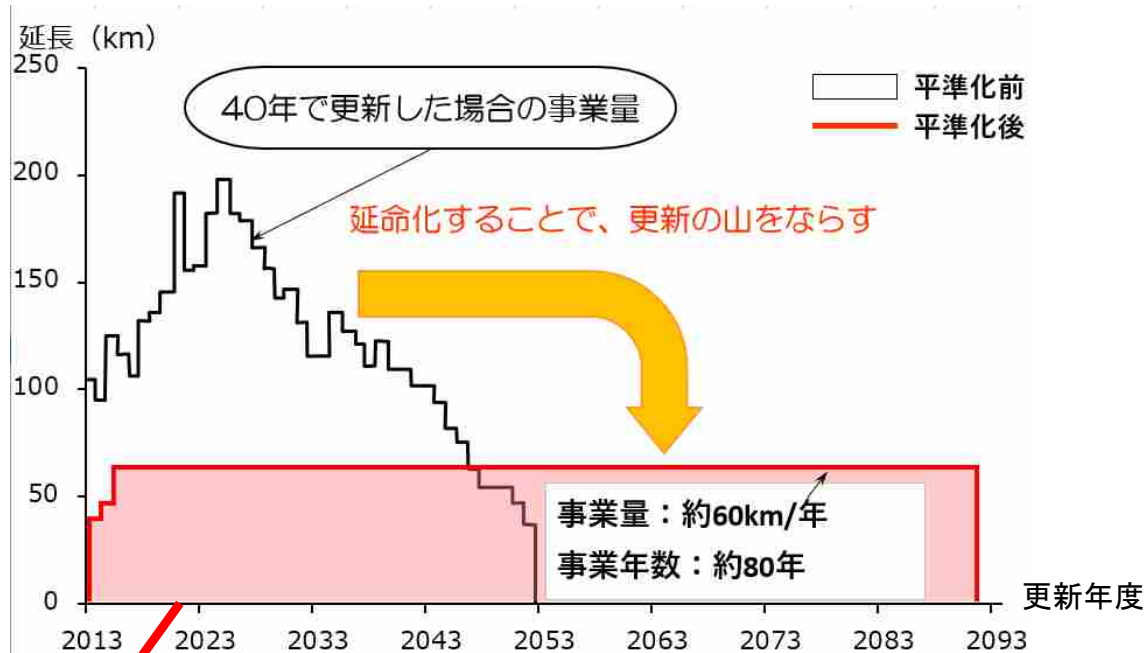
重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(5) 配水管更新事業	10,138

【事業内容】

配水管(口径75mm～350mm)の経年劣化による漏水リスクの軽減を目的に管路の更新を進めている。また、更新の際には耐震管を布設することにより耐震化も進めている。

【配水管更新計画の考え方】

配水管の延命化と事業量の平準化を図りながら効率的に更新を実施



R5: 56.7 km 更新

管路の延命化・事業量の平準化のイメージ

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と 危機管理体制の強化	(6) 定山溪浄水場耐震化事業	58

【事業内容】

地震による浄水場の被害を最小限に抑えるため、耐震性能が不足している浄水施設の耐震化を行う。



— : 耐震化対象施設

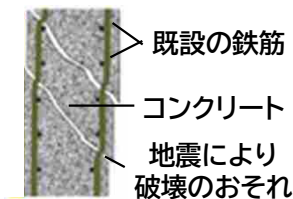
定山溪浄水場(R5)

・浄水場の耐震改修工事に向けた基本設計の実施

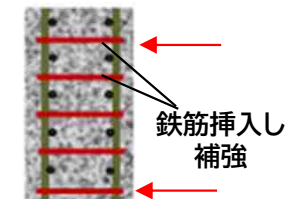
【コンクリート構造物の耐震補強】

〔鉄筋挿入による補強〕

< 施工前 >



< 施工後 >



〔鉄筋挿入施工状況〕



コンクリートの内部に鉄筋が配置されていない位置に削孔して、補強鉄筋を挿入する

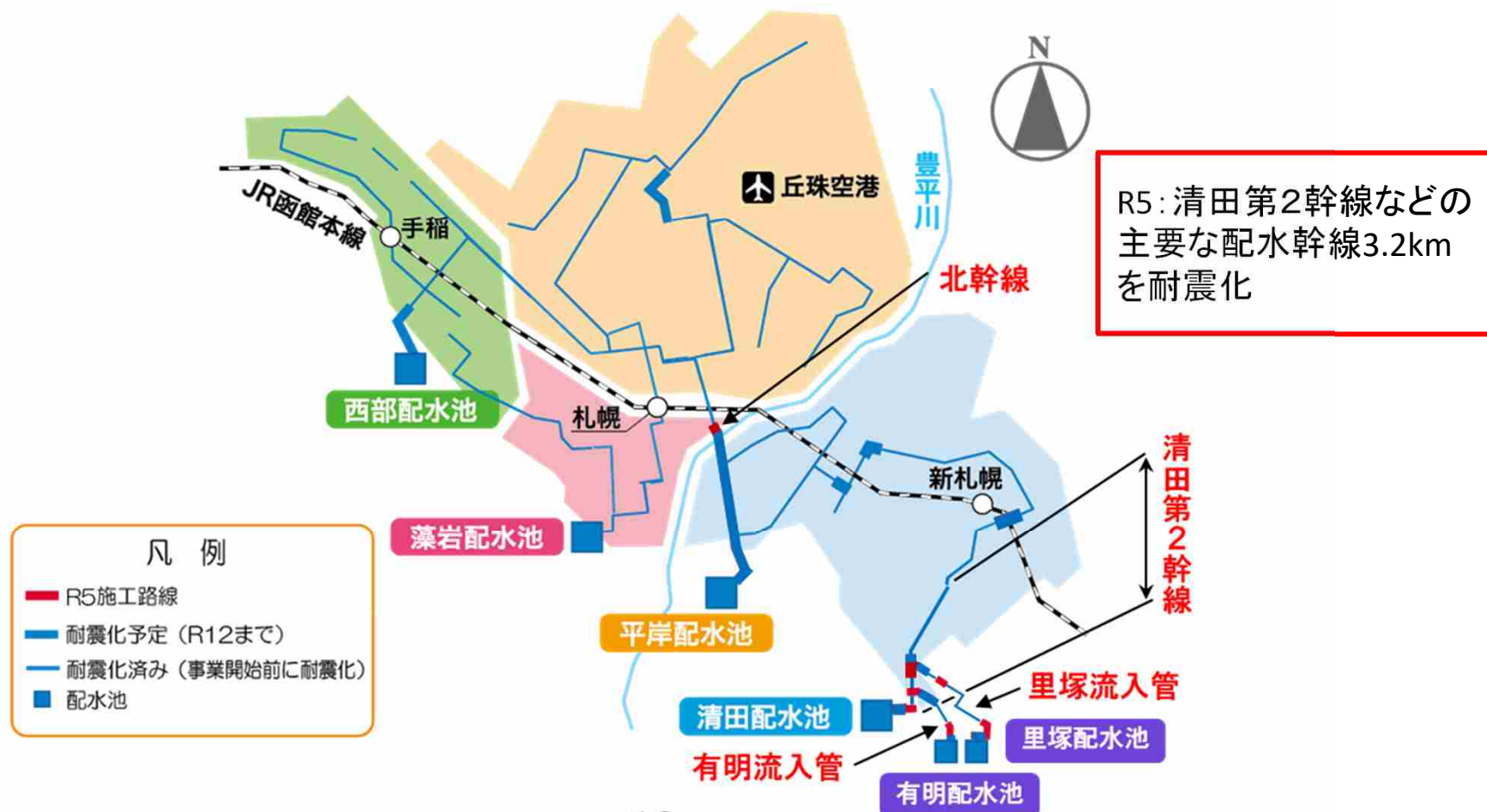
6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(7) 配水幹線連続耐震化事業	4,713

【事業内容】

4つの基幹配水池(平岸、藻岩、西部、清田)からそれぞれの配水区域末端までをつなぐ基幹となる配水幹線(口径400mm以上)を切れ目なく耐震化し、災害時においても継続的な配水を可能とする。



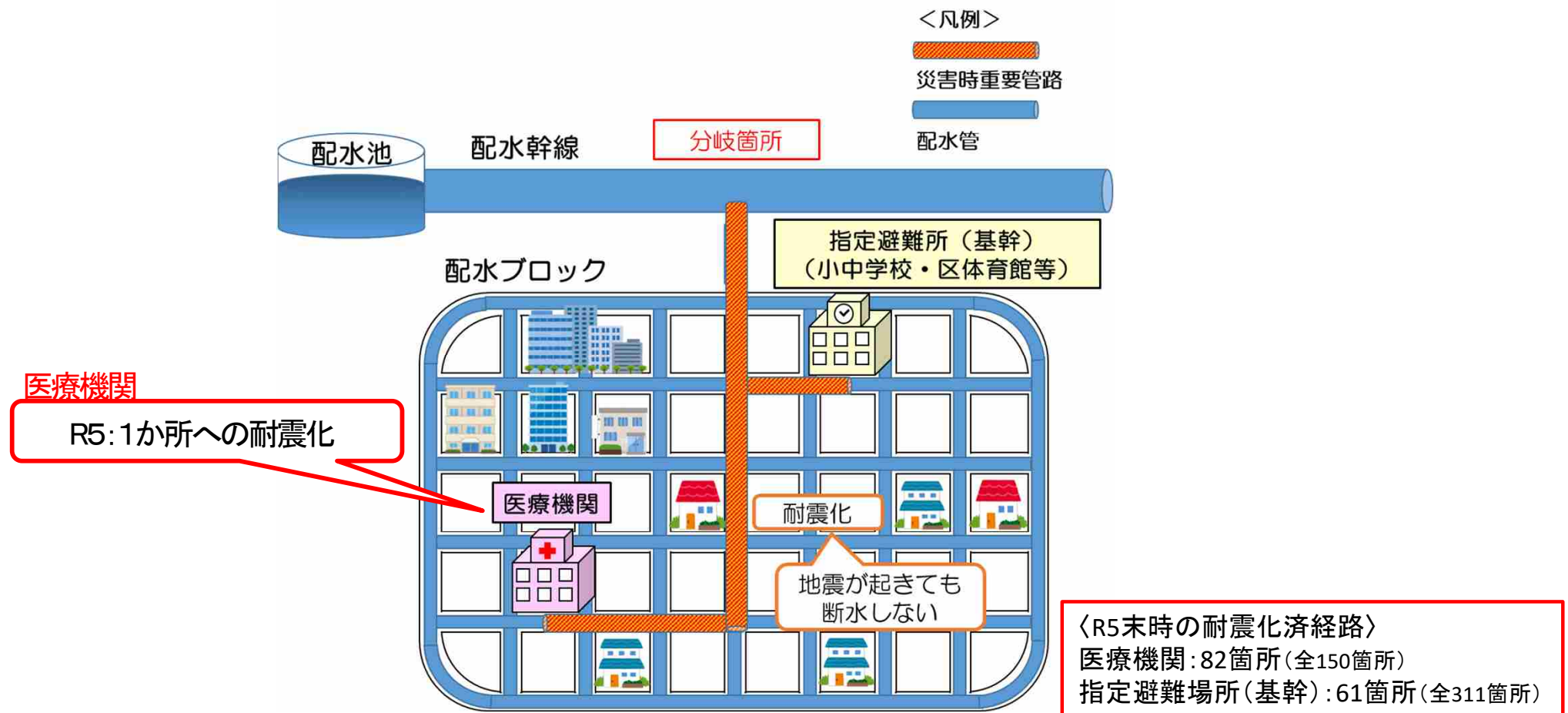
6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(8) 災害時重要管路耐震化事業	184

【事業内容】

災害時における重要施設である医療機関や小中学校などの指定避難所(基幹)へ向かう配水管の耐震化を行う。



6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
3 利用者とのコミュニケーションの充実	(9) 無線式メーターの設置地域の拡大	556

【事業内容】

積雪等で水道メーターを検針することができない場合、過去の使用実績等に基づく推定により水道料金を請求し、雪解け後の検針で過不足額の精算を行っている。その際、多額の過不足が発生することもあり、利用者にとって分かりにくい料金請求となっている。メーターを目視せずに検針ができる「無線式メーター」を導入することで、冬期間でも正確な料金請求が可能となることから、無線式メーターの設置地域の拡大を進める。

【計画概要図】

【計画概要図】		現行水道ビジョン				
年度 区等		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
既設 (※1)	清田					休止
	南	満期ごとに交換(R2～R9)				
	手稲					
新設 (※2)						
		清田・南：R3～				
		手稲：R4～				

＜設置個数＞

年度	設置個数
R2	9,435
R3	12,703
R4	17,869
R5	21,568

＜満期＞

水道メーターは、計量法により、製造から8年間経過したものは使用できないことから、新たなメーターに交換が必要となる。

※1 既設: 地下式メーターが既に設置されているもの

※2 新設: 新たに水道メーターを設置するもの

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
4 経営基盤の強化と連携の推進	(10) 札幌水道を支える人材の育成	10

【事業内容】

水道事業の運営に必要な知識・技術を次世代の担い手に確実に継承していくため、職員研修の実施や研修資料の整備を行うほか、各種資格取得者を計画的に確保する。

職員研修体系		概要	例	令和5年度 実施回数	令和5年度 延べ受講者数	実施状況
内部研修	職場研修(部内・課内)	課内/部内の職員を対象に日常業務を通じて計画的かつ継続的に実施する研修	工事現場見学、転入職員向けお客さま対応研修等	645回	4,766人	浄水場見学 
	局内研修	局職員を対象に一般に共通する事項に対し実施する研修	転入新規採用職員、局内研究発表会等	55回	795人	
外部研修	委託・派遣研修	国、地方公共団体、民間企業などの外部組織が主催する研修や講演会	経営分析入門講座、耐震設計入門講座等	51回	115人	動画教材を作成 
	資格取得	各種法定資格者等を計画的に確保・養成するための、講習受講や試験受験	第1種衛生管理者、準中型自動車免許、廃棄物処理施設技術管理者等	51回	91人	
	局外研修	札幌市総務局自治研修センターで実施する研修や他部局が主催する研修	新規採用職員後期研修等	79回	1,542人	

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
5 エネルギーの効率的な活用	(11) 環境に配慮した事業運営の推進	8

【事業内容】

低炭素社会の実現に向けて、水力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める。

豊平川水道水源水質保全事業での水力発電設備導入



太陽光発電設備設置可能性調査業務

配水池の上部やポンプ場建屋の屋根等について、PPA(第三者保有モデル)による初期費用ゼロでの太陽光発電設備導入を目指し、調査・検討を行った。

<参考: PPAの仕組み>

